

令和4年第3回大野城市議会6月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和4年6月16日（木） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
中村 真一	<p>1. 特定妊婦に対する支援について</p> <p>(1) 特定妊婦の把握について</p> <p>(2) 特定妊婦の方に対してどのような支援をしているか</p> <p>(3) 予期しない妊娠/計画していない妊娠をしてしまった方や、特定妊婦の方との信頼関係をどのような形で築いているか</p> <p>(4) 特定妊婦の方の支援について、関係機関とどのような連携をはかっているのか</p> <p>(5) 「こども家庭センター」の設置について</p>
平田 不二香	<p>1. Onojo 放課後こども事業ランドセルクラブについて</p> <p>(1) 今年度から市内10校全ての小学校で一体運営が始まったが、登録児童数と登録人数の推移は</p> <p>(2) 小学校によって定員や応募人数、開催日に違いはあるか</p> <p>(3) 児童は具体的にどのような体験活動を行っているか</p> <p>(4) 学校で使用する教室の確保の状況は、どうなっているか。また子ども一人当たりの広さは確保できているか</p> <p>(5) 支援員の確保について</p> <p>(6) 今年度スタートした一体運営が子どもたちにとってより良い放課後の時間となるように、委託業者や支援員、コーディネーター、保護者や児童に対してアンケートなどの調査を行って、その声を今後の運営に活かしてはどうか</p> <p>(7) 令和5年度以降の委託業者選定方法や時期は決まっているか</p> <p>2. ひとり親家庭への支援について</p> <p>(1) 本市の人口に関する統計データについて</p> <p>(2) 養育費や面会の取り決め、ひとり親の自立支援についての本市の相談窓口や取り組みは</p> <p>(3) 養育費について、取り決めをしているか、また、実際に受け取れているかなどの現状を市は把握しているか</p> <p>(4) 福岡県は今年度から養育費の確保を支援する「保証契約締結支援事業」を始めたが、本市でも支援を行う計画はあるか</p> <p>(5) 離婚前後の親子のメンタルケアや、決めておきたい離婚の条件など、離婚にまつわる講座を開いて情報提供している自治体がある。本市でも実施していただきたいが、いかがか</p>
平井 信太郎	<p>1. 青少年の居場所「ユープレ」について</p> <p>(1) ユープレの現状について</p> <p>(2) ユープレの利用環境について</p> <p>(3) ユープレの拡充について</p>

	<p>2. 成人年齢の18歳への変更に伴う本市の対応について</p> <p>(1) 成人年齢引下げに伴う懸念事項への対応について</p>
福澤 信光	<p>1. 行政区・学校における統一のあり方</p> <p>(1) 本市には4つのコミュニティセンターがあるが、4つのコミュニティセンターの休館日はそれぞれ決まっているのか</p> <p>(2) 市内5中学校の体育祭などの各種イベントで、各校で内容に違いはあるのか</p> <p>(3) 市内10小学校における「学校の決まり」は同じなのか</p> <p>(4) 各小学校で専門的に取り組んでいるものはあるのか</p> <p>(5) 小中学校の総合的管理を、教育委員会および教育部としてどこまでの範囲で行っているのか</p> <p>(6) 各学校の取り組みは、いつから始めているのか。また、各小学校の取り組みが、例えば大和小学校は道徳と決められた経緯はどうなっているのか</p> <p>(7) 授業参観などで振替休日をとるときには10校とも同じ日で行うのか</p>
岡部 かおり	<p>1. 市内小中学校における今後の水泳授業のあり方について</p> <p>(1) 学習指導要領における水泳授業の目的や基準、授業日数や実施上の課題について伺う</p> <p>(2) 民間委託により、外部指導者を入れている学校はあるか。また、教師のスキルアップの為の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対策により、長らく実施されなかった小中学校の水泳授業が、今年度から再開されるとのことであるが、市は水泳授業を、民間委託した場合のメリットとデメリットを、どのように考えているか伺う</p> <p>(4) 水泳授業の民間委託による教員の負担軽減について、どのように考えているか伺う</p> <p>(5) 民間のスイミングスクールには、多くの人材がおり、その専門性をもった指導員を派遣する方法もあると思うが、北市民プールや市内の民間スイミングスクール等の施設を活用した民間委託を試行的に実施することが出来ないか伺う</p> <p>2. 子どもの身近な外遊びの環境整備、健康増進のためのバスケットリング設置推進について</p> <p>(1) 市が管理する公園内の遊具点検はどの程度の頻度で行っているのか伺う</p> <p>(2) 市内の公園などに、屋外バスケットリングが何台設置されているか伺う</p> <p>(3) 身近なスポーツ施設の整備として市内の公園にバスケットリングや健康増進器具の設置検討ができないか、市の見解を伺う</p>
森 和也	<p>1. ため池について</p> <p>(1) ため池の数について</p> <p>(2) ため池ハザードマップについて</p> <p>(3) ため池の所有者等について</p> <p>(4) 「治水池」「調整池」について</p>

河村 康之	<p>1. がん患者やがん経験者への支援について</p> <p>(1) 小児・AYA 世代がん患者への支援について</p> <p>(2) アピアランスケアの推進について</p> <p>2. がん教育の推進と市民へのがん予防・がん検診の啓発活動について</p> <p>(1) がん教育の推進について</p> <p>(2) がん検診の推進について</p>
渡邊 知之	<p>1. 地域コミュニティとの連携・支援のあり方について</p> <p>(1) 地域コミュニティである区（自治会）は、構成が様々で、世帯数・年齢層・役員数・役割分担などに違いがあり、慣例も異なっている。その中で、どのように区（自治会）と連携しているのか</p> <p>(2) 区（自治会）と行政の関係づくりは重要であり、行政は各区（自治会）と協議をしながら進める姿勢や積極的に出向く等の意識が必要と思うが、現在どのような対応をしているか</p> <p>(3) 本市には27の区（自治会）があるが、市全体の区（自治会）への住民の世帯加入率はどのくらいか</p> <p>(4) 高齢化が進み、各区（自治会）において区長や役員の負担が増え、なり手が見つからない等の声がある。行政もサポートする必要があると思うがどのようなサポートを行っているか</p> <p>(5) 行政から各区（自治会）に回覧板や掲示物などを依頼していると思うが、印刷物が多い、回数が頻繁など色々な意見が出ている。もっと柔軟なシステムや、簡単な方法など従来の業務を整理し、改善を図る工夫が必要と思うがいかがか</p> <p>(6) 各区（自治会）に対して、財政支援を行っていると思うが、現状はどのような支援を行っているか</p>

○本会議（４日目）一般質問

令和４年６月１７日（金） 午前９時３０分（於 議 場）

議員氏名	件 名
松崎 百合子	1. 子どもの健やかな成長のための多胎児家庭支援、幼児期からの「生命（いのち）の安全教育」および、子どもの権利条例の制定について (1) 多胎児家庭および特定妊婦の支援について (2) 幼児期からの「生命（いのち）の安全教育」について (3) 小中学校トイレへの生理用品の配置について (4) 子どもの権利条例の制定が今こそ必要ではないか、お考えを市長に伺う
神田 徳良	1. 学校のトイレの環境について (1) 小中学校におけるトイレの現状と課題について
田中 健一	1. 九州大学との連携強化について (1) 九州大学との連携協定の目的と内容について、伺う (2) 九州大学との連携による取り組み状況について (3) 九州大学筑紫キャンパス周辺のまちづくりについて
原田 真光	1. Onojo 放課後子ども事業ランドセルクラブについて (1) 今年度から市内小学校全 10 校で一体運営が開始したが、一体運営のメリットと現状での課題は (2) おやつの時間について (3) 小学校内外に設置された施設を利用しているランドセルクラブのトイレについて (4) ADHD や ASD 等の発達障がいを持つ子どもの受け入れ状況は (5) 手厚い支援のために、発達障がいの度合いによって、支援員の数を増やす必要があると考えるが本市の見解を伺う
大塚 みどり	1. 学校教育の充実について (1) 大野城市の学校教育について
関井 利夫	1. 大野城市の職員定数及び現状について (1) 現状の配置職員数とその定数について確認したい (2) 一般職員、再任用職員そして会計年度任用職員の業務内容の違いはあるか。あれば、その内容はどのようなものか (3) 職員数を最適であるとするために、どのようなことを行っているか (4) 効率的でありながら、働きやすい業務環境とするには、重要な要素は何であると考えられるか
井福 大昌	1. 世界的有事と食料危機に対してのガイドラインやマニュアル、体制は (1) 世界的有事に対しての体制は (2) 世界的食糧危機について